

平成 25 年度決算概要報告

◆法人全体

項 目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	H25決算	H25 当初予算	予算差引 (①-②)	H24決算	前年度差引 (①-④)	
経常費用合計	63,577	63,540	37	62,013	1,563	【大学】COC事業や受託研究費獲得増に伴う教育経費・研究経費の増(+227) 【附属2病院】診療経費の増(+1,215)
経常収益合計	64,268	63,422	845	62,726	1,541	【大学】外部研究費獲得額の増(+253) 【附属2病院】附属病院収益の増(+1,125)
経常利益	690	▲117	808	712	▲22	
臨時損失	13	-	13	13	-	-
臨時収益	469	-	469	82	387	退職一時金制度変更による過年度積立額の減少分(+385)
当期純利益	1,146	▲117	1,264	781	365	
目的積立金取崩額	145	117	27	313	▲168	-
当期総利益	1,292	-	1,292	1,095	196	

(単位:百万円、単位未満切捨て)

経常収支比率※2	101.1%	99.8%	1.3%	101.1%	-
----------	--------	-------	------	--------	---

<法人共通コメント>

【費用】

- ・教職員の確保・増員等により人員は増加していますが、給与減額措置の影響により、法人全体における人件費は微増にとどまっています。(+48百万円)
- ・退職一時金制度変更に伴う積立金額の減により、退職給付引当金繰入額が減少しています。(▲35百万円)
- ・大学部門において、COC事業獲得や受託研究費獲得増加に伴い、教育・研究経費が増加しております。(教育:+67百万円、研究:+160百万円)
- ・附属2病院において、診療収入の増加に伴う医薬材料費の増、保守委託費の増、電気料金値上げに伴う光熱水費の増等による診療経費が増加しております。(+1,215百万円)

【収益】

- ・大学部門において、外部研究費獲得額の増加を受け、収益が増加しております(+253百万円)
- ・附属2病院において、外来の診療単価の増等により、附属病院収益が増加しております。(+1,125百万円)

【その他】

- ・職員の退職一時金制度変更により過年度積立額を減少させたことにより(詳細は以下参照)、臨時収益が増加しております。(+385百万円)

【退職給付債務の変更】

※現時点における損益処理は、「過去勤務債務」としてH25年度の「臨時利益」に一括計上しています。

	制度変更前①	制度変更後②	差引②-①
大学	1,484	1,436	▲47
附属病院	972	786	▲186
センター病院	1,325	1,102	▲223
合 計	3,781	3,324	▲457

<凡例>

・表における各数値は単位未満を切り捨てて表示しているため、見た目の計算結果が合わないことがあります。

・「経常利益」「当期純利益」「当期総利益」の項目名については、数値がマイナスの場合にはそれぞれ「経常損失」「当期純損失」「当期総損失」と記載するのが本来の表記方法ですが、この表では便宜上「～利益」に表記を統一しています。

※1 人件費比率(大学) = 人件費 / 経常収益
(病院) = 人件費 / 附属病院収益

※2 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

※3 医薬材料費比率 = (前年度繰入分+当期医薬材料費-翌月(年)繰越分) / 附属病院収益
繰入分、繰越分はそれぞれ前年度末と当年度末の医薬品および診療材料たな卸資産額

※参考:週刊ダイヤモンド2013年10月26日号
「特集 頼れる病院 消える病院」より
('頼れる病院ランキング'満点基準)

- ・病床利用率: 90%以上
- ・平均在院日数 15日未満
- ・人件費比率: 50%未満
- ・経常収支比率: 100%以上

項 目	① H25決算	② H25 当初予算	③ 予算差引 (①-②)	④ H24決算	⑤ 前年度差引 (①-④)	対前年度増減理由
教育経費	1,524	1,640	▲115	1,457	67	・授業料減免の増(+20) ・COC事業獲得に伴う支出増(+33)等
研究経費	2,983	2,698	285	2,822	160	受託研究費獲得増に伴う支出増(+138)等
人件費合計	7,032	7,113	▲81	7,054	▲22	
役員人件費	35	40	▲4	40	▲5	
教員人件費	5,014	5,134	▲120	5,028	▲14	教員人件費 ・給与(+19) ・退職手当(▲52) ・非常勤教員人件費(+17)
セグメント人件費振替額	94	▲63	157	151	▲57	職員人件費 ・給与(+59) ・非常勤職員(+7)
職員人件費	1,624	1,704	▲79	1,555	69	
退職給付引当金繰入	263	298	▲34	278	▲14	退職一時金制度変更に伴う積立額の減
一般管理費等	751	705	45	697	53	金沢八景キャンパス再整備関連仮移転等
減価償却費	761	706	54	712	49	NMR950等取得に伴う償却費(取得1,447・減価償却37)等
経常費用合計	13,053	12,864	189	12,744	308	
運営費交付金収益	6,736	6,784	▲48	6,619	117	学費対象経費交付増(+102)
授業料収益等	2,972	2,841	130	2,929	43	・入学検定料(+19)、入学金(+5) ・在籍者数の増による授業料収益増(+19)
外部資金合計	2,290	2,017	272	2,037	253	※収益≠獲得額 ※収益＝費用
受託	964	731	233	747	217	※獲得額(+202)、獲得件数175件→209件(+34件)
奨学寄附金	563	552	10	594	▲30	※獲得額(+52) 713→677件(▲36件)
補助金	762	734	28	695	66	※獲得額(▲3)獲得額はほぼ横ばいながら、資産取得の減少分(▲66)がそのまま収益に計上されたため、前年度比で増加しています。(獲得額、資産取得ともにNMR950等を除いて影響額を算出しています。)
資産見返負債戻入	627	558	68	594	32	NMR950等取得に伴う減価償却見合いの収益増(+37)等
雑益等	647	568	78	590	57	金沢八景キャンパス再整備関連仮移転にかかる横浜市負担額(+48)
経常収益合計	13,274	12,772	502	12,771	503	
経常利益	221	▲91	313	26	194	
臨時損失	2	-	2	5	▲2	
臨時収益	49	-	49	7	41	職員退職一時金制度変更による過年度積立額の減少分(+47)
当期純利益	268	▲91	360	28	239	
目的積立金取崩額	110	91	18	147	▲36	・110の内訳 再整備負担金(84※横浜市への支払分に対する取崩)等
当期総利益	378	-	378	175	202	

人件費比率※1	53.0%	55.7%	▲2.7%	55.2%	▲2.2%
経常収支比率※2	101.7%	99.3%	2.4%	100.2%	1.5%

※1 大学人件費比率 = 人件費 / 経常収益
 中期計画期間内達成目標: 53%未満
 ※2 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

項 目	① H25決算	② H25 当初予算	③ 予算差引 (①-②)	④ H24決算	⑤ 前年度差引 (①-④)	対前年度増減理由
診療経費	11,646	11,660	▲14	11,287	358	出生前診断検査等による委託費の増(+77)
うち医薬品費	4,761	4,820	▲59	4,786	▲25	
うち材料費	2,780	2,668	112	2,565	215	血管造影検査増等による特定保険材料費の増(+215)
うち光熱水費	565	565	-	513	52	電気料金引き上げによる増
教育・研究・受託研究・一管等	487	522	▲34	447	40	医療事故賠償金(31)
人件費	10,418	10,880	▲461	10,409	9	
教員人件費	1,372	1,485	▲112	1,378	▲5	
セグメント人件費振替額	313	467	▲154	306	7	
職員人件費	8,499	8,637	▲138	8,478	20	給与減額分(▲131) 看護師及び薬剤師等の人員増に伴う増
退職給付引当金繰入	233	290	▲56	246	▲12	退職一時金制度変更に伴う積立額の減(▲29)
減価償却費	1,243	1,349	▲105	1,333	▲90	病院情報システムの償却終了に伴う減
経常費用合計	23,797	24,412	▲615	23,478	318	
運営費交付金収益	2,091	2,346	▲255	2,428	▲337	
運営交付金交付額	2,669	2,654	14	2,637	31	
資産取得分等(施設設備等)	▲577	▲308	▲269	▲209	▲368	施設整備・医療機器等の固定資産取得による収益化額の減(▲368)
附属病院収益	20,994	21,144	▲150	20,584	410	
うち入院収益	13,928	14,436	▲508	13,914	13	
うち外来収益	6,857	6,470	387	6,437	419	・産婦人科(遺伝子診療部)の出生前診断開始に伴う自費診療増(+190) ・注射料収入の増(+135)
資産見返負債戻入	330	341	▲10	305	25	
補助金等収益	163	187	▲23	166	▲3	
雑益等	430	382	48	381	49	コンビニ設置による業務運営手数料の増(+15)
経常収益合計	24,010	24,401	▲390	23,866	144	
経常利益	213	▲11	225	387	▲173	
臨時損失	10	-	10	7	2	固定資産の除却損
臨時収益	196	-	196	74	121	徴収不能引当金の戻入(+9) 退職一時金制度変更による過年度積立額の減少分(+187)
当期純利益	399	▲11	410	453	▲54	
目的積立金取崩額	17	11	5	115	▲98	退職給付引当金充当分
当期総利益	416	-	416	569	▲152	

入院単価	66,950円	66,421円	529円	64,884円	2,066円	
入院患者数(のべ数)	206,394人	216,033人	▲9,639人	213,149人	▲6,755人	
病床利用率	86.5%	90.5%	▲4.0%	90.8%	▲4.3%	
平均在院日数	15.1日	15.6日	▲0.5日	15.7日	▲0.6日	
外来単価	14,637円	13,839円	798円	13,727円	910円	注射の外来実施に伴う増等
外来患者数/1日	1,910人	1,905人	5人	1,902人	8人	
手術件数	5,711件	5,727件	▲16件	5,727件	▲16件	入院手術▲30件、外来手術+14件
看護師数	716人	727人	▲11人	708人	8人	
医薬材料費比率 ^{※3}	35.9%	35.4%	0.5%	35.7%	0.2%	
人件費比率 ^{※1}	49.6%	51.5%	▲1.9%	50.6%	▲1.0%	
経常収支比率 ^{※2}	100.9%	100.0%	0.9%	101.7%	▲0.8%	

※※単価、患者数等は小数点以下を表示していないため、見た目の計算結果が合わないことがあります

※1 病院人件費比率 = 人件費 / 附属病院収益
中期計画期間内達成目標: 50%未満

※2 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

※3 医薬材料費比率 = (前年度繰入分+当期医薬材料費-翌月(年)繰越分) / 附属病院収益
繰入分、繰越分はそれぞれ前年度末と当年度末の医薬品および診療材料たな卸資産額
中期計画期間内達成目標: 35%未満

※参考: 週刊ダイヤモンド2013年10月26日号
「特集 頼れる病院 消える病院」より
(「頼れる病院ランキング」満点基準)

- ・病床利用率: 90%以上
- ・平均在院日数 15日未満
- ・人件費比率: 50%未満
- ・経常収支比率: 100%以上

◆センター病院

(単位:百万円)

項 目	① H25決算	② H25 当初予算	③ 予算差引 (①-②)	④ H24決算	⑤ 前年度差引 (①-④)	対前年度増減理由
診療経費	13,417	12,732	685	12,560	857	医薬品費・材料費・光熱水費の増(+626) 医療情報システム(24年度更新)保守費有償化等による増(+105)
うち医薬品費	5,318	4,718	600	4,912	406	外来における高額注射剤の使用増
うち材料費	3,637	3,450	187	3,455	181	入院のべ患者数の増・手術件数の増に伴う増
うち光熱水費	716	691	25	677	39	電気料金引き上げによる増
教育・研究・受託研究・一管等	423	472	▲48	385	38	
人件費	11,719	11,989	▲269	11,658	61	
教員人件費	2,251	2,274	▲23	2,218	32	医師2名増に伴う増 超勤手当の増(+6)
セグメント人件費振替額	▲407	▲404	▲3	▲458	50	振替額の減→当院の支出増
職員人件費	9,570	9,765	▲194	9,582	▲11	常勤看護師12名増に伴う増 給与カットによる減(▲150) 診療医超勤手当の減(▲14)
退職給付引当金繰入	305	353	▲47	315	▲9	退職一時金制度変更に伴う積立額の減
減価償却費	1,166	1,069	96	1,186	▲20	医療機器リース案件の契約満了に伴う減
経常費用合計	26,727	26,263	463	25,790	936	
運営費交付金収益	1,155	1,188	▲32	1,075	80	
運営交付金交付額	1,452	1,480	▲27	1,466	▲13	退職一時金制度変更に伴う市負担分の減
資産取得分等(施設整備等)	▲296	▲292	▲4	▲391	94	施設整備費の減→収益化される運営交付金の増
附属病院収益	24,992	24,379	613	24,277	715	
うち入院収益	16,861	17,079	▲217	16,812	48	
うち外来収益	7,776	6,958	817	7,127	648	診療単価の増
資産見返負債戻入	283	245	38	261	21	
補助金収益等	108	117	▲8	106	2	
雑益等	441	318	122	368	73	医師賠償責任保険収入の増(+58)
経常収益合計	26,982	26,249	733	26,089	893	
経常利益	255	▲14	269	298	▲43	
臨時損失	-	-	-	-	-	
臨時収益	223	-	223	-	223	退職一時金制度変更による過年度積立額の減少分(+223)
当期純利益	479	▲14	493	298	180	
目的積立金取崩額	17	14	3	51	▲33	退職給付引当金充当分
当期総利益	497	-	497	350	146	

入院単価	70,170円	70,614円	▲444円	70,225円	▲55円	
入院患者数(のべ数)	239,145人	239,153人	▲8人	237,993人	1,152人	
病床利用率	90.2%	90.2%	-%	89.8%	0.4%	病床利用調整を強化したことによる増
平均在院日数	13.8日	14.6日	▲0.8日	14.1日	▲0.3日	同上
外来単価	15,978円	14,566円	1,412円	14,724円	1,254円	注射料の増
外来患者数/1日	1,986人	1,954人	32人	1,970人	16人	
手術件数	7,656件	7,200件	456件	7,341件	315件	入院手術+141件、外来手術+174件
看護師数	906人	923人	▲17人	894人	12人	
医薬材料費比率 ^{※3}	35.8%	33.5%	2.3%	34.5%	1.3%	外来における高額注射剤の使用増
人件費比率 ^{※1}	46.9%	49.2%	▲2.3%	48.0%	▲1.1%	
経常収支比率 ^{※2}	101.0%	99.9%	1.1%	101.2%	▲0.2%	

※※単価、患者数等は小数点以下を表示していないため、見た目の計算結果が合わないことがあります

※1 病院人件費比率 = 人件費 / 附属病院収益

中期計画期間内達成目標:50%未満

※2 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

※3 医薬材料費比率 = (前年度繰入分+当期医薬材料費-翌月(年)繰越分) / 附属病院収益

繰入分、繰越分はそれぞれ前年度末と当年度末の医薬品および診療材料たな卸資産額
中期計画期間内達成目標:33%未満

※参考:週刊ダイヤモンド2013年10月26日号

「特集 頼れる病院 消える病院」より
(「頼れる病院ランキング」満点基準)

- ・病床利用率:90%以上
- ・平均在院日数15日未満
- ・人件費比率:50%未満
- ・経常収支比率:100%以上